

2017年1月より新シリーズ刊行中！

# アジア仏教美術論集 【全12巻】

監修 宮治 昭・肥田路美・板倉聖哲

本体予価各 5,800 円＋税

A5判上製カバー装 各巻平均 600 頁

**第一線の研究者らによるアジアの仏教美術研究の現在の到達点と  
将来の課題を見通す待望の新シリーズ、堂々の刊行！**

本シリーズは、彫刻・絵画・工芸・建築などを含めた仏教美術が、アジア各地域・各時代においてどのような様相や特色を見せ、そこにいかなる問題が存在しているかを示すべく、地域・時代別に全12巻で構成する。様式論や図像学、年代論といった基礎的なアプローチはもとより、思想や信仰、社会や政治など、様々な分野と関わって生成、発展した様相を明かにすることを目指している。造形から何が読み解けるかという視点をもって、仏教学・考古学・歴史学・宗教学等と関連させながら、多様で豊潤なアジアの仏教美術に新たな光を当てていく。

各巻の論文は、国内の研究者のみならず、広く各国の第一線の研究者に執筆を依頼する。そこに見られる方法論の相違はまた、それぞれの国における研究の伝統と動向を映し出すものとなる。

本シリーズが、アジアの仏教美術に関する研究の現在の到達点を明らかにし、将来の可能性を拓く第一歩となれば幸いである。

(『アジア仏教美術論集』刊行にあたって)より抜粋)

**第6回配本 (2019年3月)**

## 東アジアⅡ (隋・唐)

責任編集 肥田 路美

本体価格 5,800 円＋税

A5判上製カバー装 本文 636 頁 ISBN 978-4-8055-1131-2 C3370



**中央公論美術出版**

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱いは

